

IT時事ネタキーワード「これが気になる！」(第145回)

デジタル庁「行政での生成AI利活用検証から見えた10の学び」を公表

2024.06.27



デジタル庁は5月13日、デジタル庁の公式note「デジタル庁Techブログ」において、2023年12月より行われている「2023年度 デジタル庁・行政における生成AIの適切な利活用に向けた技術検証」により得た知見をまとめた「行政での生成AI利活用検証から見えた10の学び」という記事を5月13日に公開した。

デジタル庁「2023年度事業 行政での生成AI利活用検証から見えた10の学び」を公表

この記事はデジタル庁AI担当の大杉直也氏によるもので、「生成AIによる業務改善の一助になればと思い、実際の行政業務で生成AIの利活用を検討する際に得られた知見を共有」する趣旨で公開された。「デジタル庁2023年度事業 行政での生成AI利活用検証の結果報告」で得られた知見を、皆にわかりやすく具体的に「10の学び」にまとめたという。

上記検証は、今後の政府情報システムへの生成AI利活用に向け、「行政業務に対して生成AIをどのように利用すべきかの知見の獲得」「生成AIの利活用により改善できる業務の特定」「どの程度業務改善効果が見込めそうかの推定」を目的に、期間は「2023年12月から2024年3月」、対象は「デジタル庁を含む中央省庁の一部職員や一部自治体」において行われた。平易に言えば「どの行政業務に対し、どのようにテキスト生成AIを使えば、どのくらい改善効果がありそうか」を調べたものだ。

「10の学び」は、文章量が多いため3回に分かれた構成となっている。第1回は最初の5項目。続く第2回は6～9およびそれまでのまとめ、第3回は最後の項目であるテキスト生成AIを情報検索目的で利用するケースについての少々マニアックな話、という構成だ。一般的には第1～2回を中心に読めばよいだろう。

「10の学び」の具体的な内容は後述するが、これらは業務にテキスト生成AIを利活用しようとする実際の現場で得た貴重なノウハウを、誰にでもわかるよう平易にまとめ、広く共有していこうとする姿勢には頭が下がる。ありがたく活用していこう。

「デジタル社会の実現に向けた重点計画」(令和4年6月7日閣議決定)を踏まえ、AIの官民における適切な活用を検討

「10の学び」の背景は、「2023年度 デジタル庁・行政における生成AIの適切な利活用に向けた技術検証を実施しました」から伺うことができる。これによれば、デジタル庁は「デジタル社会の実現に向けた重点計画」を踏まえてAIの実態と動向を把握、リスクと必要な対応策を特定した上で、官民における適切な活用の検討を進めてきた、とある。続いて、昨今の技術革新により、生成AIからさまざまな利点を得られるようになってきた状況を踏まえ、技術の動向を見極めつつ、関係省庁における生成AIの業務利用について「第10回デジタル社会推進会議幹事会・書面開催」などの議論を重ねてきた、という。

… 続きを読む